

# 家族で子育て Q&A ⑥



**Q** 「スマホ育児」はいけないと言われますが、電車の中や静かにしてもらいたいときには便利なのですが。

**A** 絵本や外の景色を眺めるなど工夫して、やむを得ない場合でも「親子で一緒に見る」ようにしましょう。

## 外ならではの工夫を

スマホ育児とは、スマートフォンやタブレット端末で遊ばせたり、知育用のアプリを育児に利用したりすることです。

公共の場で子供がぐずると親は周囲の目が気になり、「端末で遊ばせると静かにしてくれる」「育児の負担が軽くなる」「絵本やしつけなどの知育アプリだから問題ない」と、使っていることが少なくありません。それにスマホがあれば、絵本やおもちゃなどの外出時の荷物を減らせる、と考える方もいます。けれども便利なものには落と

し穴もあります。子供はスマホの光と音に強く反応するので、依存傾向になりやすいのです。電車の中で遊んだゲームのとりこになり、帰宅しても大泣きしてせがむので困る親もいます。

電車の中では、窓の外を見せたり、絵本やしりとり遊びをしたり工夫しましょう。公共の場で使うときにも、子供に渡すのではなく、親も一緒に見るようにしたいでしょう。

## 親のメディア・リテラシー

スマホ育児には、広くは親のスマホ利用も含まれます。子供が話しかけたり、泣いたりし

ているのに、親はスマホに目が釘付けという光景も目にします。度を越したスマホ利用は、親と目が合わず、泣いて訴えることもしないサイレントベビーやネグレクト（育児放棄）につながりかねません。

子供の笑顔を見ると、親は子育てが喜びになります。ところが、親子の間にスマホなどの「物」が挟まると、コミュニケーションが妨げられて、子育てを難しく感じるようになるのです。親が少しでも我慢すれば、それが改善できるのですから、大事な親のメディア・リテラシー<sup>※</sup>だと言えますね。

※必要な情報だけを取り出して活用・発信したり、真偽を見きわめたりして、情報を主体的に読み解く能力のこと。